

(発表)平成30年05月25日  
一般財団法人日本特許情報機構

**一般財団法人日本特許情報機構 (Japio) 特許情報研究所  
IP リサーチフェロー 桐山勉博士が「IPI-Award」を受賞!**

このたび、一般財団法人日本特許情報機構 (Japio) の特許情報研究所 IP リサーチフェロー 桐山勉博士が、特許情報 (Patent Information) 分野において国際社会に多大な貢献をした人物に贈られる「IPI-Award」の 2018 年度の受賞者に選ばれました。

この「IPI-Award (International Patent Information Award)」は、IPI-Award 選考委員会 ( ) が 2000 年から毎年 1 人を選考し、表彰しているものです。桐山博士は 19 人目の受賞者となります。

IPI-Award 選考委員会：米欧日の専門家による委員会

## 1. 「IPI-Award」の概要

2000 年に創設されたこの賞は、特許情報の分野で優れたアイデアや指導力を発揮した個人を毎年 1 名表彰するもので、受賞者には盾と賞金が授与されます (いずれもアメリカ・Technology & Patent Research International 社の後援による)。

桐山博士は、長年にわたり欧米の特許情報専門家と日本の特許情報専門家との橋渡し役を務め、IPI-ConfEx ならびに PIUG 年次大会にてプレゼンテーションを行う事によりグローバルな特許情報専門家の育成に貢献している等の功績により表彰されました。

今回の受賞式は、5 月 7 日にアメリカ・バージニア州で開催された PIUG 2018 年次総会の一環として米国特許商標庁 (USPTO) のアトリウム (中央ガラス館) で行われました。

詳細については、<http://www.ipi-award.com/> を参照してください。

Gala Party 開始時の挨拶 Heiko Wongel 氏



来賓の USPTO-STIC 上級システム戦略官 Thomas A. Beach 氏の PIUG 30 周年記念祝辞



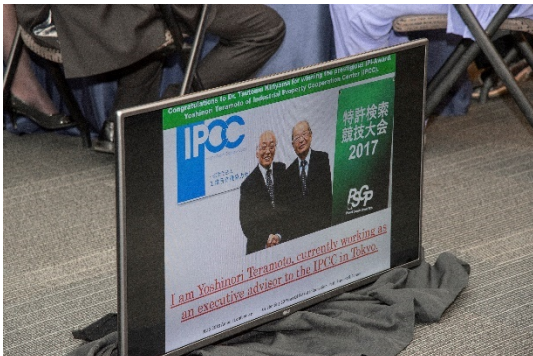
ご来賓者と握手する桐山博士



受賞者を紹介する Lucy Antunes 選考委員長



元上司の寺本義憲氏の Video-message (左右の大スクリーンに放映された)



受賞後の参加選考委員たちとの記念写真



受賞スピーチ (桐山博士)



受賞スピーチ (拡大写真)



スピーチ後に参加者からスタンディングオベーションを受ける



IPI-Award 創設者 Mr. Ford Khorsandian 氏



創設者 Ford Khorsandian 氏と二人で



IPI-Award 選考委員と過去の受賞者 3 人と記念写真



IPI-Award 2018 の盾(実物写真)



松井理事長と



松井理事長、小林専務理事、藤城常務理事と



桐山博士

